

番組企画書

『～The Borderline～』 JLPGA プロ vs 宣言プロ 運命の 18 ホール

1. 企画意図

女子ゴルフ界において、年間約 600 人が受験し、合格者はわずか 20 名前後

本番組では、ツアーで活躍する「JLPGA 正規会員」と、最終プロテストやカットライン間際に涙を呑んだ

「プロテスト挑戦中の宣言プロ(ティーチングやミニツアーで活動する選手)」による真剣勝負を敢行

両者の違いは「技術なのか、マネジメントなのか、あるいは執念なのか」

合格ライン目の選手と、壁を越えた選手の決定的な差を 18 ホールのストロークプレーで検証します。

2. 番組構成案

- ルール： 18 ホール・スクラッチのストロークプレー
- 単なるマッチプレーではなく、プロテスト同様の「トータルスコア」へのプレッシャーを再現
- 舞台(候補)： 関東近郊の難関コース
(静ヒルズ CC、大和 CC などプロテスト実施経験コース)

3. 出演者構成

- ① JLPGA プロ(1 名)： ツアー優勝経験者、またはシード保持者
- ② 宣言プロ(1 名)： 直近の最終プロテストで「1～3 打差」で不合格となった実力派選手
- ③ 解説： JLPGA 幹部、またはプロテストの厳しさを知るベテラン女子プロ
- ④ 実況： ゴルフ実況経験豊富なアナウンサー

4. 注目ポイント:検証の切り口

番組内では、最新の弾道計測器やメンタルデータの分析を交え、以下の「差」を可視化します。

検証項目

注目するポイント

リカバリー率

ピンチの際に「ボギーで耐える力」と「パーを拾う執着心」の差

決定的な 1 打

プレッシャーのかかる場面でのティーショットのバラつき

コース戦略

常に 100 点を狙う宣言プロ vs 60 点でも結果を出す JLPGA プロ

インサイド・ストーリー

テスト前後の家族の献身的なサポート

5. 番組イメージ(タイムテーブル)

- 00-10 分： イントロダクション / JLPGA プロテストの過酷さと、出演選手の紹介
- 10-40 分： 前半(1-9H)両者のプレースタイルの違いを浮き彫りにする。
- 40-70 分： 後半(10-18H)プレッシャーの中でのスコアの動きを検証
- 70-90 分： 試合終了後 エンディング / 解説による「勝負を分けたポイント」の総括と、宣言プロの再起への誓い

6. 制作・キャスティング案

- JLPGA プロ案：黄金世代やプラチナ世代で、若手のお手本となる選手
- 宣言プロ案：SNS でフォロワーが多く、ファンが「次こそ合格してほしい」と願う人気選手（ネクストヒロインツアー出場者など）

スポンサー募集

- ・本番組のスポンサー企業を募集しています

問合せ先

SGR番組企画担当 「info@sgr-llc.jp」

著作権 SGR LLC

- ・本番組の企画内容の著作権を含む一切の知的財産は当社に全て帰属いたします。
- ・著作権の侵害及び著作人格権の不正利用が発覚した際は法的措置を講じることがあります。